

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					3.9
1 音環境		3.0	0.15	3.1	1.00			3.1
1.1 騒音		3.0	0.50	3.0	0.50			
1.2 遮音		3.0	0.50	3.3	0.50			
1 開口部遮音性能	界壁の壁厚を180mm以上とし、二重壁により遮音等級Dr-50を目標値に設定している。	3.0	1.00	3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	-	4.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境		2.2	0.35	5.0	1.00			4.6
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00			
1 室温	住宅性能表示基準 断熱等性能等級4を取得	3.0	0.63	-	-			
2 外皮性能		1.0	0.38	5.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		1.5	0.25	4.0	1.00			3.6
3.1 昼光利用		1.8	0.30	4.0	0.50			
1 昼光率	住居部分2.5%	1.0	0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		3.0	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50			
1 昼光制御	カーテン及びバルコニー底の組合せでグレアを制御している。	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		1.0	0.15	-	-			
3.4 照明制御		1.0	0.25	-	-			
4 空気質環境		3.6	0.25	3.6	1.00			3.6
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料を70%以上の面積に採用している。	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO ₂ の監視		3.0	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.3
1 機能性		3.0	0.40	3.8	1.00			3.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性	各住戸に100Mbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境が整備されている。	3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	3.5	0.40			
1 広さ感・景観	住居部の天井高2.5m以上。	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.8	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	住宅性能表示制度 劣化対策等級における等級3を取得	5.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:C、汚水排水:B、雑排水:B Eは不使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4	信頼性		2.6	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備	1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備	3.0	0.20	-	-	
3	対応性・更新性		3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	3.1	空間のゆとり		-	3.2	0.50	
		1 階高のゆとり	階高2.92mを確保	3.0	-	4.0	0.60
		2 空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40
	3.2	荷重のゆとり		3.0	-	3.0	0.50
	3.3	設備の更新性		3.0	1.00	-	-
		1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-
		2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-
		3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-
		4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-
		5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-
		6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
	1 生物環境の保全と創出		3.0	0.30	-	-	3.0
	2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
	3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
		3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-
		3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率60.49%、中・高木、ピロティ等の水平投影面積率30.37%、緑被率、水被率、中・高木の水平投影面積率の合計が52.17%	4.0	0.50	-	-
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.5
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.2
	1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能表示制度 断熱等性能等級における等級4を取得	5.0	0.20	-	-	5.0
	2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
	3 設備システムの高効率化	BEIm 非住宅 - 住宅(専有部) 0.93	4.7	0.50	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価(3a.3b)		-	-	-	
		集合住宅の評価(3c)	専有部 一次エネルギー消費率0.93	4.7	1.00	-	-
	4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
		集合住宅以外の評価		-	-	-	
		4.1 モニタリング	3.0	-	-	-	
		4.2 運用管理体制	3.0	-	-	-	
		集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.6
	1 水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
		1.1 節水	1.0	0.40	-	-	
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	
		2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減		2.6	0.60	-	-	2.6
		2.1 材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	1.0	0.20	-	-	
		2.5 持続可能な森林から産出された木材	2.0	0.10	-	-	
		2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。	4.0	0.20	-	-
	3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
		3.1 有害物質を含まない材料の使用	化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別が1つある。	4.0	0.30	-	-
		3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-
		1 消火剤	-	-	-	-	
		2 発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.6
	1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2の排出率:68%	4.2	0.33	-	-	4.2
	2 地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-	3.5
		2.1 大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
		2.2 温熱環境悪化の改善	地表面対策面積率 91.52%	4.0	0.50	-	-
		2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-
		1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
		3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-
		1 騒音	3.0	1.00	-	-	
		2 振動	-	-	-	-	
		3 悪臭	-	-	-	-	
		3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
		2 砂塵の抑制	3.0	-	-	-	
		3 日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
		3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-
		2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-